



本村幼稚園 12月の園だより

令和7年 11月 30日 港区立本村幼稚園長 山崎 高志

子供たちの成長

園長 山崎 高志



11月27日、28日の展覧会にお越しいただき、ありがとうございました。本村幼稚園最後の展覧会は、今年度とは組の園児が体験した様々な場面を幼稚園のホールに再現したものになりました。作品を見ると、この1年の子供たちがどんな体験をして、それがどれだけ楽しかったのかをうかがうことができたのではないのでしょうか。子供たちが「ほんむら★だいすきランド」と名付けたのもうなずけます。子供たちが作成した豆汽車に園長の私もお客として乗せてもらいました。動くか心配でしたが、園児と先生たちとで力を合わせて引いてもらい、楽しい体験をさせてもらいました。



【シンボルツリーお披露目会】

今年度で休園になる本村幼稚園の思い出をいつまでも残すために本村小学校代表委員会が記念のシンボルツリーを置くことを提案し、11月20日（木）に園庭でお披露目会が実施されました。この会には、地域の方にもお越しいただきました。

シンボルツリーの種類を決めるために、本村小学校の全学級で学級会を開き、意見を出し合い、候補をあげました。そして本村幼稚園児も含めた全校投票の結果、集まった候補の中からシンボルツリーに選ばれたのは、園児も親しみがある「モミジ」でした。

花には花言葉がありますが、樹木にも花言葉があるそうです。モミジは楓（カエデ）の別名です。カエデの花言葉は「大切な思い出」だそうです。代表児童のお姉さんから園児に「幼稚園の皆さんとの大切な思い出をいつまでも残していけるようにとの意見からモミジがシンボルツリーに選ばれました。これから本村小学校ではこのモミジを大切にして、幼稚園の皆さんとの大切な思い出を残していきます。」という説明がありました。

本村小学校の玄関に置いてありますので、ぜひご覧になってください。

2学期の子供たちの成長

園内研究会のために学期に1回、本村幼稚園にお招きしている東京成徳短期大学教授の松本純子先生が子供たちの成長について先日次のようにお話ししてくれました。

- ・1学期には見られた誰かに頼ろうとした姿がなくなった。
- ・自信をもってのびのびと自分のよいところを伸ばしている。
- ・友達を呼んで、力を合わせてできることが増えた。
- ・「はいっ」の返事や「ありがとう」の感謝の言葉が自然に出る。
- ・少人数だと自分がやらなければ何事も進まないの、自立の意識が育ち、みんなの後についていくということがなくなった。

短期間での子供たちの成長に驚かれていました。教師のひいき目でなく子供たちは着実に成長しています。